

■普及所から⑦①■

冬に行う土の改良について

花壇で草花作りを楽しまれている方も多いことでしょう。でも、花が終わって引き上げたとき、地土部はそこそこ大きくなっているにもかかわらず、根はちよつぱりという経験をした方もあると思います。

これは、土が硬くしまっているために根が十分土中に伸びることができなかったため、根の分量が少ないのです。

発芽した植物は、土中に根を張り植物の地土部を支え、同時に植物の生育に必要な水や養分を吸い上げ植物を育てます。根は呼吸してはじめて伸び、水や養分を吸収します。このために土中に空気(酸素)が十分に必要です。土の表面が硬くなったり水はけが悪くなったりすると、土中の空気が不足し根が酸素不足になります。

それでは硬くなった土を空気に富む軟らかい土にするにはどうすればよいか、冬の間にできる土の改良法について述べてみます。

土をできるだけ深く(三十一四十七センチ)掘り返し耕します。この掘り返し耕すという作業は、土を団粒化(小さな土の粒子が集まっ

て、より大きな土粒を形作ること

させ、土中に酸素を補給する効果があります。これを冬の寒中に行うと、土中の水分が凍ったり溶けたりすることの繰り返しによる風化作用がプラスされます。風化もまた土を団粒化させ多孔質の軟らかい土にします。加えて越冬中の病菌や害虫も寒さのために死滅するので、病虫害退治にも役立ちます。一冬に三十四回、三週間おきぐらゐに掘り起こして耕す作業をすれば十分です。したがって、空いている花壇や畑などは、この土の改良方法をお勧めします。

また植物を長く栽培していると、どうしても土が酸性化してくるので、一年に一度は苦土石灰などを土の表面が白くなる程度(一平方メートルあたり約二〇〇グラム)に散布し、土と混ぜ合わせましょう。同時に腐葉土や堆肥などをバケツ一杯約八割ぐらゐに施しましょう。

土の改良は、一回でも行うのと行わないのとではたいへんな違いがあります。特に埋め立て地や新しく宅地造成した住宅地などでは効果的ですので、ぜひ行ってください。

【南国農業改良普及所】

成人病予防週間記念健診

第三十回成人病予防週間の行事

として、中央保健所で次の日程で健康診査を行います。希望の方は申し込みください。

■検診日・二月六日(日)。

■場所・中央保健所(高知市丸の内二丁目四十一番地)高知県保健衛生総合庁舎高知公園すべり山北側。

■対象者・南国市内の方で成人病

で、一年に一度は苦土石灰などを

土の表面が白くなる程度(一平方メートルあたり約二〇〇グラム)に散布し、土と混ぜ合わせましょう。同時に腐葉土や堆肥などをバケツ一杯約八割ぐらゐに施しましょう。

土の改良は、一回でも行うのと行わないのとではたいへんな違いがあります。特に埋め立て地や新しく宅地造成した住宅地などでは効果的ですので、ぜひ行ってください。

このようにして改良され若返った土で草花作りを楽しんでください。

検診を受けていない方。

■申込先・一月十一日(月)から一月三十日(木)までに高知市保健予防課(☎9436)まで。

※検診内容について詳しいことは、市役所保健課保健係(☎2111内線129、130、326)までお問い合わせください。

事業所から排出される ごみ(一般廃棄物)の 処理について

時に一般廃棄物の処理については、市長の指示する方法に従うことが義務付けられています。

南国市では、自家処理できない事業系一般廃棄物の処理について次のように定めていますので厳守してください。

(1)燃えるごみ

一回当たりの排出ごみが二袋以下の場合には「業務用(小)の市指定袋」を使用し、ごみステーションへ二袋を超えると「業務用(大)の市指定袋」を使用し、許可業者による直接収集となります。

(2)不燃ごみ

ステーションへは一切出さず、すべて許可業者による直接収集となります。

法律により「事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない」と定められ、同

肺がん(喀たん)検診

のお知らせ

南国市では昭和六十二年四月から肺がん検診を実施しています。

肺がんにはレントゲンで見え

れる肺野型と、たんの検査で見

られる肺門型の二種類があります。そこで今回は、レントゲン検診の間診票により対象者に対して一月に喀たん検査を実施します。対

■対象者

○血たんのある方

○たばこ一日の本数×年数(六百本以上の方(例・一日二十本×三十年間=六百本))